



堀場製作所OB会

会報

通巻38号

発行日 平成27年7月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

- ◆緊急訃報
- ◆第19期定例幹事会概要
- ◆第19期東京支部定例会
- ◆HOVC活動 ボランティア部会
 - ・京都マラソン・ボランティア
 - ・桂川クリーン大作戦
 - ・鴨川を美しくする会
 - ・鴨川茶店
 - ・鴨川クリーンハイク
- ◆HOVC活動 キャリア部会
 - ・KSVU (京都シニアベンチャークラブ連合会)
 - ・京モノレンジャー
- ◆クラブ活動報告
 - ・山遊会
 - ・釣りクラブ
 - ・東京支部ゴルフクラブ
 - ・ゴルフクラブ
 - ・ボウリング同好会
 - ・囲碁クラブ
- ◆OB会行事報告
 - ・春の懇親会……………がんこ高瀬川二条苑
 - ・レジャー例会……………京都水族館
- ◆東京支部一泊旅行
- ◆研修会
- ◆会員寄稿文
 - ・京都の知ってるつもり
「秀吉は京都を改造した」…海野 興一郎
 - ・嫁さんは可愛いもの……………梶並 強平
 - ・ペルー旅行記……………村瀬 潤
- ◆OB会だより
 - ・堀場OB会ホームページ紹介
 - ・新入会員紹介
 - ・訃報
 - ・年間行事計画について
 - ・会報、ホームページへの寄稿要領について
 - ・OB会入会手続きについて
- ◆上半期会社ニュース ピックアップ
- ◆編集後記



京都には国宝三唐門（西本願寺・豊国神社・大徳寺）があります。そのなかでも西本願寺の唐門は最も豪華で絢爛な造りです。桃山時代の代表的な作品で伏見城より移されたそうです。建築細部の彫刻を眺めていると日の暮れるのも忘れることから「日暮門」とも呼ばれています。麒麟や孔雀、鳳凰、鶴、龍、などが側面には虎と豹が対になって彫られています。こんな立派な国宝が惜しげも無く人々が往来する普通の道からもいつでも見ることができるのはやっぱり京都ですね！

(湯浅 一郎 記)

創業者 堀場雅夫最高顧問が2015年7月14日午後6時54分ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。



第19期定例幹事会概要

第19期 幹事会 議事録より抜粋

1. 会社との連絡会の内容報告

第20回総会の内容とスケジュール検討
社長の御都合を勘案し、11月24日と決定された。
再来年は創立20周年と言うことで記念事業を今後、企画する予定であるが、一案として、琵琶湖工場の見学会を含めて開催することを検討したいと申し入れ、了解された事が報告された。

2. HPの現状報告

HPのリニューアルを検討しているが、ゴビからは今後のメンテナンス性等を考えた場合、技術的にも新しい技法に変えた方が生産性も高いとのコメントが有り、その全面改修についての見積書を受け取った。その内容は、50万円であり、その可否については評価がし難い。どうするかは検討するが、20周年記念に向けて間に合うよう進めることとした。

3. OB会室の整備・整理状況

幹事さんの努力で、綺麗に整備されてきた。無線LANの環境は整備されました。複数台のPCがインターネットに接続が可能となった。

4. OB会のジャンパー管理

現在の所有者を確認して、リスト化します。番号は付けないで管理する。

5. 今後の行事計画

11月のレジャー例会総会が24日になるので、予算執行のタイミングとの整合性を検討する必要がある。

6. 会計の状況報告

会費の振込状況を早急にまとめること。去年は総会の時期が早く、案内の送付が9月20日以前になった為、9月21日以前に振り込まれる事が起きた。今後は9月21日以降に総会、振込用紙の送付を行うよう、総会の日決定を含め、注意することが必要である。

7. 次期予算計画について

次回の幹事会（9月11日）までに、予算化計画、特に各クラブは決算に問題の無いよう、9月20日締めで準備・対応の事。

8. 20周年の企画について

企画委員を選定し、今期中からでもスタートしたい。幹事会として賛同を得た。

9. OB会入会の勧誘活動について

今期、現在まで、5人が入会された。他に2名の予定が確実。以上
(酒井 俊英 記)

第19期東京支部定例会

第2回 定例会

東京支部は2015年3月27日（金）東京支店会議室にて10名の出席で19期第2回定例会を開催しました。谷口幹事より1月と3月の幹事会報告、新会社福島SiC応用技研について中間報告が行われた。会社幹部との懇談会は9月3日（木）に決定した。



会員の不幸時の連絡窓口の変更、4月の春の懇親会は谷口幹事が出席予定。続いて玉置副幹事より5月の研修会は山梨県の石和温泉で一泊旅行を行い、観光場所として武田神社、県立美術館でミレー作品や山梨ジュエリーミュージアムの見学を検討していることや他のスケジュール等詳しく説明があった。宿泊はかんぼの宿「石和」で併せて東京ゴルフクラブの第3回コンペを甲府国際CCで行い、同日に20期年間行事計画、予算等の検討を行うため、第3回定例会を予定通り実施、5月の幹事会報告も行うことでした。

会議終了後、そば処「大新」で懇親会を行いました。今回は最近のニュースが話題となりその後お茶を飲んでお開きとなりました。

出席者（敬称略） 寺西氏、大志万氏、草鹿氏、辻川氏、土屋氏、玉置氏、谷口氏、

第3回 定例会

東京支部は2015年5月30日に第3回定例会を開催した。今回は20期に向けての年間行事計画のスケジュールと予算の決定をする。皆さんの集まる機会が限られ、かんぼの宿で早朝よりの開催となりました。議題は谷口幹事より説明され、20期年間行事計画で、第1回定例会を12月より1月の新年会に変更する。

懇親会会場の都合、第2回定例会は3月、第3回定例会は5月に研修会と併せて開催とする。研修会一泊旅行は5月末より1週間早く実施する。幹部懇談会は9月に実施する。ゴルフコンペは3回開催予定とすること等が了承された。

続いて予算について、19期は30%ダウンさせたが、20期は15%アップでお願いすることで了承された。

2016年5月の研修会一泊旅行の場所を検討し、20周年行事にはとの意見もだされた。夏の京都での懇親会に東京からも出席したいと申し出があった。

東京支部のOB会加入メンバーの増員等について説明され、メンバーによる勧誘協力の依頼が有った。また本部との協力により60才から65才までの対象者を個人的にフォローすることを全員了承した。

9月に行われる幹部懇談会は時間が変更になり、JASIS2015の展示見学会を先に行うことや、集合場所、時間等地図を見て詳しく説明され会議を終了した。

出席者（敬称略）
草鹿氏、辻川氏、土屋氏、玉置氏、谷口氏



HOVC活動 ボランティア部会

京都マラソン・ボランティア参加報告

京都マラソン2015にボランティア参加しました。京都マラソン2015が、まだ寒い2月15日に開催され、OB会ボランティア部会も10名（中村正博、池田俊明、宇野久二夫、竹内幸雄、中村十規人、村瀬潤、村田敏幸、森山晶成、笠川重美、伊藤哲）が沿道整理係として、昨年に続いて2回目のボランティア参加をしました。

当日朝の天候は、曇りで風が無く、選手が走るのに良い条件でした。梅宮大社参道に近い四条通りが、担当場所です。7時50分に集合し、通行規制のテープなどを設置します。梅津段町から松尾橋東詰めまでは歩道が狭く、応援の観客が増えると人の通行に支障が出そうで心配しましたが、それほど増えませんでした。狭い歩道を自転車で走る人が結構おられます。選手の通過時刻が近くなり、広報車がスピーカーで通過が近いことを知らせながら通りました。9時頃、車椅子競技の選手の前をパトカーが2台先導して通過。次に9時10分過ぎマラソンの先頭集団9名が白バイに先導されて通過。少し離れて20名余りの第2集団が通過すると、16,000人の参加選手が次々と延々と走り抜けていきます。

スタート地点の西京極競技場から4km程度の地点ですので、選手の皆さんは未だ余裕で走っていますが、中にはやや苦しそうな人も居られました。選手の中には、あのiPS細胞研究の山中教授もおられた筈ですが、見つけるのは無理でした。9時40分頃に最後尾が通過し、撤収の目印の指令車の通過により、撤収作業を開始です。ごみは、規制テープとそれ以外を分けて収集です。思っていたより早く10時頃に終わりました。最後に、10名全員で記念写真を撮って、今回のボランティアは解散しました。

(村瀬潤 記)



桂川クリーン大作戦・参加報告

第8回の桂川クリーン大作戦が2015年2月22日（土）に行われました。昨夜から降り出した雨が、朝まで降り止まず今日の桂川清掃がどうなのかと、心配しながら取りあえず出掛けてみる事にしました。現地に着く頃には雨も上がりかけて、集合場所には大勢のボランティアの方々が、雨具姿で、開始時間を待っていました。堀場製作所OB会のメンバーは、酒井さん、梶並さん、中村十規人さん、森山さん、中村正博さん、秋山さん、笠川さん、そして宮本の8名で参加させていただきました。清掃開始の合図で一斉に支給されたゴミ袋を持って、河原へ降りて行き、早速ゴミ拾い開始。

遠くからは見た感じでは、ゴミなど落ちているようには見えないのですが、実際は空き缶、プラスチック製の欠片、布製のゴミ、タイヤ、釣具の糸、空のゴミ袋がずしんと重くなっていきます。ゴミを収集しながら、歩いて行くと、梶並さんが植物の球根を見つけました。球根の種類当で、一時その場所が輪になって球根当てクイズのようになってしまい、チューリップだよ、いや水仙かも、いや曼珠沙華と思う、いや

玉ねぎかも、でもなんの球根が分からないままです。でもこの球根の答えは、梶並さんが会社の花壇に植えてくれました。はるか夏か秋には



答えが分かるはずですが。（育てばね・・・）楽しみです。沢山のゴミを拾い無事に終了、そしてもう一つの楽しみが有ります。冷え切った身体を温めてくれる恒例の御善哉を頂くことです。そのお店が近くにありまして、甘くて温かい御善哉に皆の顔も笑顔の花が咲いていました。来年は今年よりもまた多くの参加者が集まれば良いなと思いました。（宮本美津子 記）

本年度41回目となる鴨川茶店が4月11日（土）、4月12日（日）に行われました。主催は、鴨川を美しくする会・京都鴨川ライオンズクラブ、会場は植物園西側、北山通りと北大路通り間の「なからぎの道」で行われました。



茶店以外に、地域の物産展、鴨川美化の啓発、尺八・琴の演奏会、騎馬隊、チアリーディング、吹奏楽と盛りだくさんの内容で実施されました。

堀場OB会では南側の進入口付近の交通整理、来場者の道案内を実施しました。今年は雨が心配されましたが、幸いにも開催前には雨が上がりました。4月にしては少し肌寒い気候で、出足が心配されましたが、まずまずのにぎわいでした。来場者は南側入り口付近にあるモニュメントと満開のしだれ桜をバックに撮影する方も多くみられ、それぞれ楽しんでおられました。

■協力者（敬称略） （三橋 泰夫 記）

- ・11日：船越 健、笠川 重美、三橋 泰夫
- ・12日：中村 正博、池田 俊明、森山 晶成



鴨川クリーンハイクに参加して

「鴨川を美しくする会」主催、鴨川定例クリーンハイクに参加（2015年4月29日）4月29日（水）は「昭和の日」で休日。酒井、森山、萩原の3名は10時に五条大橋北西の河川敷に集合し参加しました。主催者や京都市町美化推進事業団などの方々が挨拶された後、今日は参加者が多いので清掃場所分が行われ、堀場OB会は他の4団体と共同で、鴨川左岸の堤防上で川端道路沿いの散策道に決まりました。

ゴミ拾いばさみやゴミ袋を受け取り川向かいの左岸に出発しました。桜の花も終わり新緑が美しく、この通りには色々な花の木が植えられていて、白いユキヤナギの花から始まり、三条通り辺りからは白や紫のサツキが満開でした。

ゴミは道路面より植木の茂みの中が多く、大型の布団袋に入ったゴミや、分解されたテレビなども見受けられ、そのままにしておいたが、元気な若い参加者が布団袋を担いで行ったのには驚きました。また鴨川の浅瀬では長靴グループが川の中の清掃が見られました。そしてこの道には交差

点で信号器があり自転車も多くて注意し、観光客も多く外人さんにトイレや地下鉄などの行き方を尋ねられ、酒井さんが英会話で対応されました。11時半過ぎ丸太町橋の終点に着き、ゴミ袋を置き、冷えたジュースを頂き流れ解散しました。3日続きの快晴で、今日は雲がある日で楽しく参加できました。（萩原 孝一 記）



HOVC活動 キャリア部会

KSVU(京都シニアベンチャークラブ連合会)

NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会
5月にKSVUの総会で、小谷昌男氏に代り、KSVU新理事長としてCNKCの洲崎行男氏が就任され2年の任期中務めて頂くことになりました。
平成26年度は16M¥の事業をこなしました。本年平成27年度事業をやるべくスタートしています。事業予算は12M¥と縮小しますが、増々多岐にわたる事業となりそうです。

第一の柱である「企業OB人材の中小企業支援事業」は昨年度より多くのマッチングが要求されております。また、KSVUの第二の柱事業である「省エネ・節支援事業」は京都府・市と多岐にわたり、KSVU省エネ研の大活躍が期待されています。

「京モノレンジャー」教育支援活動も本年度は154校の9,194名に増加、京都市小学校の91%が受講

京モノレンジャー

◆その1 工房学習平成27年2月25日、3月4日の報告

平成27年2月25日(72名)、3月4日(82名)授業は154名の参加で盛況なものとなりました。

HORIBAが提供している工作授業は、その名も「世界で一つだけの温度計」です。堀場製作所コーポレートコミュニケーションオフィス(CCO)足立憲昭さん、ボランティア6名(モノレンジャー)の協力を得て授業をスタートしました。

下記の2点を改善しエコを意識して対応しています。昨年の温度計に機能を追加した事で実用性が増したほか、より一層、温度を“はかる”面白さを感じていただけるように工夫をこらし、エコにも対応出来るようにしまし



た。

★温度表示のLEDを2点から3点に変更(18℃以下・19~27℃・28℃以上)

予定・・・忙しくなりそうです。

「地域資源ネットワーク構築事業」も本年度後半から琉球大学シーズの企業マッチングがあり、企業OB人材の知恵・情報網が必要となりそうです。堀場OBベンチャークラブ(HOVC)の50数名のメンバーもこれらの事業に楽しく・チャレンジ心を持って取り組んで頂くようよろしくお願い致します。

もちろん 興味ある講演会 企業見学会も予定します。お楽しみに!!

【KSVUホームページ<http://ksvu.or.jp>】

京都シニアベンチャークラブ連合会
事務局長 船越

★温度センサーを防水加工し、液体の温度測定も可能にしました。

2月25日 実施授業

上鳥羽小学校 5年 69名(3名欠席)

1コマ目 9時30分~10時30分

2コマ目 10時40分~11時40分

班編成 ①4名×5班+5名×3班

②4名×6班+5名×2班

3月4日 実施授業

二条城北小学校 4年 85名

児童入館予定 9時00分

1コマ目 9時10分~10時10分

2コマ目 10時20分~11時20分

班編成 ①4名×3班+5名×6班

②4名×2班+5名×7班

【温度計】キット部品の説明をしながら組立てを進めました。小学生たちは温度が測れることが解けると段々と騒がしくなり、組立後に基板上の電源「スイッチ」を押して「LED 黄色が点灯」すれば完成です。

その後、隣の実験室へと進み、準備した保冷剤、ドライヤー、ポイントクーラー、水道水を温度計で測りました。子供たちの表情は興味津々、楽しさ一杯であふれていました。



◆その2 工房学習 平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)1年間の学習報告
平成26年度工房学習 11校 669名 実績報告

日付	時間帯	学校名	生徒数	学年
6/18	午後	仁和	70	4年
6/20	午前	南太秦	70	4年
6/25	午前	大原野	39	6年
6/25	午後	桃山	85	4年
9/24	午前	鷹峯	27	4年
9/30	午後	池田	48	4年
10/10	午前	市原野	49	4年
11/5	午前	桃山東	78	4年
1/15	午前	洛央	79	4年
2/25	午前	上鳥羽	72	5年
3/4	午前	二条城北	82	5年

堀場製作所、CCO、OB会ボランティアの皆さんの協力
で無事に工房学習が達成出来た事を感謝します。



◆その3 工房学習 平成27年度(平成27年4月～平成28年3月)1年間の学習予定
平成27年度より工房学習協力体制が堀場製作所OB会より堀場製作所CCOの木村友紀さんに移ります。
運営変更の理由
今の温度計の製作費が高いのでコストダウンを堀場製作所で検討していただくこと
(平成27年度は生き方探求館で既に各小学校に温度計の希望数を依頼している為に現状の温度計で進める事が決まりました)
平成28年度からは堀場製作所のCCOで企画する。
(作り方、小学生に教える内容、費用、新人を含む方向で検討され→OB会ボランティアの意見も参考に進めて頂く)

堀場製作所OB会のボランティア活動は京都市教育委員会の京都まなびの街生き方探究館の要請で企画推進室 担当係長(担当)5月頃に各OB会の個人宛にボランティア活動の依頼が来ますので各人が希望の日程を決めて回答する。温度計の完成品引渡しは8月中旬頃で進んでいます。8月中には生き方探求館参画推進室 担当係長(担当)に備品を送付する予定で進んでいます。(森山 晶成 記)



【温度測定サンプル】

平成27年度 「世界に一つの温度計」プログラム
実施依頼校一覧

日付	時間帯	学校名	生徒数	学年
10/14	午前	唐橋	76	4年
11/13	午前	待鳳	56	4年
11/25	午前	山ノ内	74	4年
11/25	午後	小野	79	4年
11/27	午前	桃山	79	4年
12/1	午前	京極	26	4年
12/1	午後	淳風	18	4年
2/5	午前	藤城	77	5年



クラブ活動報告

山遊会報告

－第38回 例会－

- ・実施日：平成27年3月7日（土）曇
- ・山行先：釈迦岳（631.0m）
ポンポン山（678.9m）
- ・参加者：下川和子、下川博司、橋口純男、
倉原政治、宇野久二男、山岸豊

立った。ここから出灰バス停までは約2Km。舗装道路を20分歩き、12時5分送迎バスに合流した。今回の山行はここまで。後は第5回総会へ。



11時30分JR高槻駅に集合した萩原孝一、高橋義治、丸山博、中村正博の4名を乗せた送迎バスに出灰バス停で合流し二料山荘へ。もとは造り酒屋であり、昔の酒蔵の趣を残す母屋を背景に、早々に記念撮影を済ませ入室。懇親会を兼ねて第5回総会を開き、次回以降平成27年中の日程と山行場所を協議した。和気藹々のうちに15時終了。ふたたび送迎バスに乗り16時過ぎJR・阪急高槻駅から帰路に着いた。

（下川 博司 記）

JR向日町駅午前8時25分集合、阪急バス善峯寺行8時35分発に乗り、9時8分終点下車。小雨が降りだしたためレインウェアを着て9時18分出発。舗装道の突当りから谷を渡り、山腹を巻くように緩やかな登りを行く。雨も上り柳谷観音への分岐で雨具を脱ぎ急坂に備える。10時10分稜線にでて小休止。10時25分釈迦岳で1枚目の記念写真を撮る。朱色の巨大な高圧鉄塔の横を通り、11時2分ポンポン山に到着、2枚目の記念撮影をして11時10分下山開始。バスの時間を意識して少しピッチを上げ、11時45分尸陀寺跡に降り



—第39回 例会—

- ・実施日：平成27年5月30日（土） 晴
 - ・山行先：皆子山（971.5m）
 - ・参加者：下川 和子・下川 博司・橋口 純男・倉原 政治・宇野久二男・渡辺 正資
- これまで2回秋に計画したが、台風など雨で中止を余儀なくされ、季節を変えて3度目の挑戦となった。



JR京都駅午前8時15分発新快速敦賀行きに乗り、堅田駅から江若バス50系統8時50分発細川行に乗り換え9時22分平駅で下車。一緒に下車した他のパーティは比良山系の権現岳の方に向かい、皆子山に向かうのは我々だけとなる。とりあえずバス停から3分の正教院に向かい、準備運動で体を慣らし9時35分出発。のっけから植林された急坂のジグザグ道を一步一步足元を確かめながら登る。

10時10分急坂の終わったところで小休止。なだらかな新緑の尾根道に爽やかな風がほほを撫でる。10時35分標高837mの地点を通過。10時50分標高941mのピークで水分補給をし、空木の花を愛でながら11時20分頂上到着。誰もいないと思っていたが、皆子谷から登ってきたというご夫婦が先着していて、記念写真のシャッターを押しもらう。皆子山といえば頂上付近は背丈ほどもある笹を掻き分け登らなければならなかった

が、今は全くなく比良山系の武奈ヶ岳から蓬萊山・権現岳まで一望できる。昼食後12時下山開始、12時20分941mのピークを通り、急坂の手前で小休止して13時5分正教院まで戻ってきた。堅田駅行きのバスが15時59分までないため、予めの計画通り14時56分途中始発のバスに乗ることにして花折峠に向かう。

旧道を進み国道367号線を横切り、権現岳の登り口を左手に見て更に登り13時45分旧花折峠に到着2枚目の記念写真を撮る。標識では途中トンネルまで5Kmとある。バスの時間が気に掛かるが、下り道だから何とかなるだろう。しばらく下ったところで再び国道367号線にでる。車が行き交うヘアピンカーブの道端を歩き、途中トンネルの手前で旧道に入り、14時35分途中バス停に着いた。定刻発の折り返しのバスに乗り、堅田駅15時38分発の新快速に乗り換え、15時57分京都駅で解散となった。

（下川 博司 記）



釣りクラブ

今回堀場製作所釣りクラブとの合同開催となり、OB会から村田、中村、下川の3名、釣りクラブから調子、内原の2名が参加した。



ゴールデンウィーク中の5月4日（火）午前9時30分東舞鶴港釣り船瑞翔に集合した。今回の狙いは真鯛とマアジであったが、このところ真鯛が釣れていないとのことで、前半はハマチ・ツバス、後半大アジを目標に出船。連休中のこれまでと違って、曇り時々雨の天候、風もあって寒い1日となった。まずは沓島の西に当たるおおぐりのポイントで竿を出す。船長のアド

バイスでサビキ釣りとする。直ぐに調子さんに当たりがあり、型の良いウマズラハギをゲット。1番クジを引き艫に陣取り一人天秤ズボで攻める下川さんに大きな引きがあったが針を折られる。全く当たりがないなか下川さんが75センチと79センチのヒラマサを立て続きにヒット。仕掛けが棚にうまくフィットしているとみえ、その後もイサキ、真鯛、ツバスを釣り上げる。この間中村さんはツバス2匹をゲット。青物を諦め大アジ釣りに切り替えるべく釣り場を変える。ここで調子さんに真鯛がヒット。全員が大アジ2～3匹に沖メバルというさみしい釣果のまま18時に納竿となった。「今日は下川デーやな」の冷やかに「たまにはこんなこともないとな」と笑顔が消えない1日でした。（下川 博司 記）



東京支部ゴルフクラブ

19期東京ゴルフクラブコンペを開催
東京ゴルフクラブは2015年5月29日（金）に山梨県笛吹市の甲府国際カントリークラブでコンペを開催しました。研修会一泊旅行に合わせてゲストの方を迎えて、ここ1週間程夏日が続いて気温が心配でしたが、今日は薄曇りで絶好のゴルフ日和でのスタートでした。甲府国際CCは案内ではフェアウェイ、グリーンとも微妙なアンジュレーションがあり、正確なショット、パットが要求される、変化にとんだ丘陵コースとなっていたが、アップ、ダウンがきつく山岳コースに近く、年寄にはきついコースでした。5月末ということでラフの芝生も伸びていて重くてきつく、左はOB、右は1ペナというコースが多く、左右の土手からも下まで落ちず途中で止まるためスコアメイクに苦労しました。競技は新ペリア方式（par+3）としNP、DCをおこないました。優勝は同グロス（96）でしたがハンデキャップで谷口氏で、準優勝は

村嶋氏でした、NPはOBグループでDCは若いゲストグループでした。プレー終了後、かんぼの宿に向かい、表彰式と賞品の授与を行い、温泉につき疲れを癒しました。

出席者（敬称略）

草鹿氏、谷口氏、古田氏、村嶋氏



ゴルフクラブ

平成27年5月22日（金）に第2回堀場OB会ゴルフクラブ部コンペを、9名の参加のもとでデイリー信楽カントリー倶楽部において開催しました。5月に入り暑い天気が続いていたが、ここ数日の朝晩の気温は涼しく、開催当日の朝7時半時点の温度は、ゴルフ場近くの道路の表示板で13度を指していた。ここ信楽のあたりは、京都市内に比べ2-3度低いようだ。プレイスタート時には、半袖では少し涼しいぐらいで本当に良いゴルフ日和に恵まれた。ただ、午後になると、暑くなり夏日の気温となった。ゴルフ場は、フェアウェイの起伏、グリーンへの傾斜、自然の石などを活用したレイアウトなど、戦略性に富み、難コースを相手にスコアメイクに苦しんだが、なかなかおもしろいコースである。この中で、栄えある優勝は前回に続いて宇野さんの頭上に輝いた。

表彰式、パーティはゴルフ場のレストランで行い、少々、少ない参加者ではあったが、和気あいあいと健康的で楽しい一日を過ごした。次回は、10月22日にクラウンヒルズ京都ゴルフクラブで行うことを決め、宇野さん、内山さんが次回の世話

役を行うことになりました。ゴルフは何歳になってもできるスポーツです。健康に良いだけでなく前頭葉が活性化し脳トレになるそうです。今回参加できなかった人も、次回は是非とも都合をつけて頂き、多くの仲間が参加するように期待しています。

（三好 則夫 記）

参加者：（敬称略、組合せ順）

永井 博、長沢 克己、三好 則夫、
佐々木 一訓、高橋 義治、倉原 政治、
桐野 茂、内山 正克、宇野 久二男



ボウリング同好会

◇ボウリング同好会第3回例会報告

日時：2015年3月7日土曜日10:30～12:00

会場：ラウンドワン河原町店（河原町蛸薬師上ル）

3月の土曜日参加者7人でした。今回は小山忠夫



さんの弟小山良夫さん、永田真寿夫さんの弟芦谷恭通さんが参加されました。永井博さんは初優勝を飾り、ハイゲーム236は同好会新記録です。写真は集合写真とご機嫌の永井博選手です。終了後は、近くのビアレストラン スーパードライ京都で懇親会を開催しました。

◇ボウリング同好会第4回4月例会報告

日時：2015年4月4日土曜日10:30～12:00

会場：ラウンドワン河原町店（河原町蛸薬師上ル）

4月例会の参加者6人でした。今回は永田真寿夫さんの弟芦谷恭通さん、毛利隆文さんの息子信之さんが参加されました。毛利隆文さんは2回目の優勝で、次回ハンデはマイナス1となりました。終了後は、近くのビアレストラン スーパードライ京都で懇親会を開催しました。

◇ボウリング同好会第5回5月例会報告

日時：2015年5月2日土曜日10:30～12:00

会場：ラウンドワン河原町店（河原町蛸薬師上ル）

5月例会の参加者6人でした。初登場は、鳥島義則さんです。最初はとまどいがありました。尻上がりに復活。ファミリー参加は永田真寿夫さんの弟芦谷恭通さん、毛利隆文さんの息子信之さん。永田真寿夫さんは2回目の優勝で、次回ハンデは9となりました。

終了後は、近くのビアレストラン スーパードライ京都で懇親会を開催しました。

（毛利 隆文 記）

囲碁クラブ

囲碁クラブ「京都社会人囲碁大会・宝酒造杯」参加報告

第19期初めての囲碁大会に、2015年4月11日、4月19日の両日に参加しました。4月11日は、京都社会人囲碁大会という団体で、3カ月に1度、御所の近所の「仁風庵」で開催されます。約50名の囲碁77ソにより熱戦が繰り広げられます。4月19日は、宝酒造杯です。約1300名が、京都産業会館でクラス別の熱戦を繰り広げます。

OB会からは、東さんが二段、丸山さん初段、小生は1級で参加、三人ともいい成績で終了しました。

丸山さんの弁：「お土産たっぷりの大変楽しい囲碁大会で大満足でした。これからは近所の囲碁クラブ（老人会？）に、ちょいちょい顔を出して腕を上げて？毎年チャレンジしたいと思っています。今のところはね。」

（中村 正博 記）

OB会行事報告

春の懇親会

2015年4月18日（土）正午より第19期、春の懇親会が、二条高瀬川がんにて行われました。天候が不順な今年の春にしては珍しく好天に恵まれ、幹事一同、日頃の会員の皆様の心掛けが天に通じたものと喜んでおりました。今回は40名を越えるメンバーを迎え、一層賑やかな懇親会となりました。中村（正）さんの司会で始まり、恒例の山下副本部長の会社の近況報告が有りました。前期の成績は好調で、堀場エステックで拡充された最先端開発センター、大きな投資が進んでいる琵琶湖工場の今後の予定、吉祥院の本社内の建物の整理統合や、次期建設計画を伺い、ますます発展する堀場製作所の今後に大いに期待が膨らむ話を聞くことが出来ました。昨年、11月に亡くなられた前代表幹事の川越さんに対し、全員で黙祷を捧げた後、内山さんの御発声で、乾杯を行い、懇親会は喧騒のルツボと化したのであります。その後、今期入会され、懇親会に参加された衣斐さん、吉良さんのご挨拶と、久しぶりに参加された八木さん等からの近況報告。谷口さんからの東京支部の

報告も有り、会場は大きな笑い声と歓談の賑やかな声で、皆さんの十二分に楽しんでおられる事を確信しました。今後の活動の予定として、6月19日の日帰り研修の紹介（京都水族館見学と京都公設市場の寿司屋での会食を予定）、5月22日のゴルフクラブの案内、ボーリング同好会のお誘いや、山遊会の予定、釣りクラブ等、誰も聞いているとは思えない中、懸命に声を張り上げてのお誘いがアナウンスされました。美味しいお料理を頂きながら、酌を酌み交わしている間に、デザート、コーヒーが出て来て、2時間があっという間に過ぎてしまいました。最後に、中庭の縁側辺に移動して、全員の写真を取り、解散となりました。幹事さん、ご苦労様でした。（酒井 俊英 記）



レジャー例会

京都水族館の見学

2015年6月19日（金）に実施されました。梅雨の最中で九州鹿児島地方は豪雨で被害も出ていましたが、京都では10時40分に京都水族館前に集合した頃には、雨も止んできました。水族館のある梅小路公園に入るのは初めてで、JR京都駅から歩き、時間に余裕があったので、小雨でしっとりした新緑の中を散歩することが出来ました。予定参加者26名は予定時間に集合し、水族館には何回か来ている参加者もいて、自由行動となりました。また見学を終えての集会は、12時30分と同じ場所に戻ることに決まりました。11時30分からイルカのシヨウが有ることを告げられ、薄暗い館内で最初に観たのは、京の川に生息するグロテスクで大きなオオサンショウウオで、大小多くが飼育されていました。

以前は清滝の渡猿橋から清滝川の川底を歩くオオサンショウウオの姿をときどき見かけました。



一般の人達と進み、かいじゅうゾーンでは、円筒の水槽に現れ、目の前で観るオットセイの体皮の綺麗さに驚き、次の大水槽では多くの海の魚が悠々泳ぎ、水面近くではイワシの大群が円を描きながら泳いでいました。OB会員が突然この大水槽の亚克力樹脂は何処でつないであるのかな、と昔の技術屋根性が出てきます。以前にOB会で大阪の海遊館にレジャー例会で行った時も、より大きな大水槽を作る日本技術の高さに感心しました。海洋ゾーンでは小さな水槽に色とりどりの熱帯魚が泳ぎ、特大のカニやイソギンチャクそしてより暗い場所には小さなクラゲの水槽が多くあり、ゆっくり見たいが次の機会にして、今日のメインイベントのイルカスタジアムに係員の案内で急ぎました。



半円形の客席をみて驚きました、満席で殆どが可愛い園児たちでした。入り口で集合待ちの時次々に園児たちが入園しているのを見ていたが、みな座れるように申込みで調整しているように思われます。会の皆さんは一番後ろで立ち見が多いようでした。シヨウの内容は一般的なもので、音楽や説明の賑やかな中で、若い4名の調教師が上手に餌を与えながら、スピードと迫力のあるシヨウが30分ほど行われました。やはりイルカのシヨウは何処の水族館でも人気があると思われます。しかし最近イルカの多い需要に捕獲イルカが使われている問題がありました。園児たちのためにも継続してほしいです。急いで数人とペンギンゾーンへ行きました、1階は水中で泳ぐ姿で、2階には多くのペンギンが移動することなく岩の上に立っていました。待っていれば歩きや飛び込みが見られたと思いますが、すぐ出口に向かいました。やはり2時間での見学では、水族館内を通り抜けた感じでした、誰か言っていたが裏方みたいと、クラゲも卵から育てているようでした。集合あと近くの七条千本卸売市場内のすし市場2階に行き、新しい感じの良い部屋で、すしの昼食を食べ解散しました。（萩原 孝一 記）



春のレジャー例会 6月19日 天気晴れ
京都水族館と京都市市場で楽しみました！！
近畿地方は梅雨の真最中・・・この日ばかりは
梅雨の晴れ間。10時40分集合なのに早くから梅小路公園に堀場OBが集合。幼稚園児・小学2年生・親子連れが入場後に我々総勢26名が入場。
初めての京都水族館・・・わくわくしながら・・・まずは鴨川上流に生息するオオサンショウウオとご対面(意外とかわいい顔しとる!)・・・淡水魚(このアマゴえらい太っとるな・・・)・・・海水魚(この鯛やったらいい引きしよるで!!)・・・熱帯魚(ハリセンボンや!クマノミや!ポニョや!・・・)・・・ペンギン(鳥なのに長いこともぐり泳ぎしよるな!このペンギン名前が四条

らしい・・・寺町もいるらしい!)・・・クラゲ(横から見るとかわいいな!けどこの長い脚がくせものや!)・・・高足蟹・大水タコ・等々・・・そしてイルカショウの観覧へ 子供たちがお弁当中・・・席の空いてのを探し観覧・・・「イルカLIVE きいて音(ネ)」で、子供と一緒に笛を吹いたり・拍手したり・・・楽しんで・・・そして出口へ・・・そこで記念撮影。梅小路公園を歩いて(ずっと歩いておなかペコペコ!)・・・京都卸売市場にある「すし市場朱雀」で遅めの昼ごはん・・・「今度は孫を連れてこのコースで1日過すのもいいな!!」結構楽しかったし!うまかったなー!
ご苦労様でした!! (船越 健 記)

東京支部 一泊旅行

山梨県石和地区 (5月29日、30日)

当初の参加メンバーが出発日近くになり、家事都合や急病のため最終参加者は5名+特別参加1名(ゴルフ参加のHTS古田氏)合計6名となりました。初日は石和温泉「かんぼの宿」に夕刻集合し、ゴルフ組と観光組が一同温泉にて疲れを落とした後夕食を取りながら近況を語り合い、食後も一室に集まり近況報告の延長となり遅く迄楽しく語り合いました。



翌朝は朝食後19期第3回定例会議が開かれ谷口幹事より20期年間行事計画及び予算の説明や東京地区のOB会加入メンバー増員等について説明され現メンバーの積極的な勧誘協力の依頼が有り全員了承され会議終了となりました。その後、車移動にて武田神社参拝し、ボランティアの方から説明を聞き武田信玄の戦果や思いや甲斐の国の栄枯衰退の歴史を少しですが再認識でさせていただきました。その後再度車移動にて山梨県立美術館(通称ミレー美術館)にてミレーの有名な作品「落穂拾い、夏」を始め数多くミレー作品、更に他の作者の素晴らしい作品の数々に皆さん時間を忘れ見入っていました。そして昼食を取り短く感じた2日間の幕となり、再

会を楽しみに解散となりました。今回の旅行で参加者の皆さんが日頃の生活の疲れを温泉で癒



し、信州甲斐の国の歴史に触れ、また美術館での絵画鑑賞により心の洗濯が少し出来たのではと思いますと同時に思い出の大きな1ページになった事と思います。(玉置 健三 記)

参加者 (敬称略)

ゴルフ組:草鹿・谷口・古田(特別参加)

観光組:辻川・土屋・玉置

—ご参考—

武田神社は武田信玄公を御祭神としてお祀りされている。信玄は戦国時代きっての名将、大永元年(1521年)石水寺要害城に生誕、天正元年4月12日に上洛の夢半ばに信州駒場で53歳の生涯を終えますが21歳の時、国主となって以来30年余り連戦連勝を重ねるのみならず、領国の心血を注ぐ中、治水工事、農業商業の隆興に力を入れ領民にも深く愛された。現在でも信玄さんと郷土の英雄・誇りとされている。

研修会

第19期 紀伊勝浦温泉一泊旅行報告

今年は、紀伊勝浦温泉に2月20日から、一泊二日で21名参加のもと、行ってきました。この冬は、雪や、雨が多くて天候を大変に心配しましたが、旅行中は快晴で、温かく、絶好の旅行日和となりました。



勝浦は、マグロの漁港として有名であることから、マグロ料理を楽しむ計画で、今回も直行観光バス（湯快倶楽部）にて行ってきました。

京都駅集合にてみなさん朝早くても遅れなく、集合されました。勝浦まで6時間かかりました。途中、集中豪雨での山肌に傷があり、今も復旧作業が行われていたりしていましたが、時間通りに到着しました。



到着後、観光その①として紀の松島めぐり（遊覧船）を1時間程度しました。

海はあおく、空も、青く、素晴らしい景観でした。また、遊覧途中にてイルカのショーもあり、水族館とは違う雰囲気を楽しませてくれました。

ホテルでの夕食となり、バイキング料理で食べきれないほど食べ、カラオケをみんなで楽しみました。みなさん大変に歌が上手で盛り上がりました。そして、温泉にゆったりと入り一日目の思い出とともに休みました。



二日目、朝食後観光その②で路線バスにて那智大社に向けて出発。途中で、バスで、那智大社に直行組と、もう1つは、途中から、熊野古道を歩いて那智大社に向かう組に分かれました。私は、熊野古道は初めてだったので歩きました。うっそうと茂る大きな杉の木の道を皆さんに遅れないように必死で歩き、途中那智の滝が見えてきて疲れが取れ、前日のお酒もどこかきえて気持ちの良い感じで登りました。また、梅の花が咲いていて、メジロが、私たちを迎えてくれました。カメラを向け写真を撮りましたが、後で確認したら撮れているのは1枚だけでした。でも春を感じさせてくれる1枚は撮れました。那智大社にお参りして、那智の滝近くで直行組と合流し、那智大社の思い出をいっぱいにして勝浦に帰りました。昼食は、マグロのおいしい店で豪華料理と美味しい酒をいただき、女性お二人含む一行21名は無事帰路につきました。

(笠川 重美 記)



豊臣秀吉は大坂城(当時は大坂と書く)の城主であったことから、大阪との関係が強い印象があるが、よく調べると京都の方が強いので、京都との関わりを探ってみた。

【御土居の建設】京都は古くから鴨川の洪水に悩まされていた。そこで、関白に就任した秀吉は、1591年鴨川の氾濫水と侵略者の侵入を防ぐため、外側に堀のある土塁「御土居」(堤の大きさ：基底部20m、頂部5m、高さ5mの台形断面)で京都中心部を囲った。その規模は南北に長い全長23kmもある多少凹凸した楕円状であった。その内外を「洛中」「洛外」とし、洛外への街道口には関所を設け、出入り者を監視した。その数、10箇所あったと言われている。今でも、鞍馬口、大原口、荒神口、粟田口、丹波口の地名が残っている。ところで御土居は徳川の世になると次々と撤去され、今ではわずかな遺跡と旧土居町などの町名が残っているだけである。

【短冊型の町割】平安京の町割の最小区画は東西・南北ほぼ1丁(108m)四方の正方形であった。そのため、道路に面して家屋敷が軒を並べると、1軒の奥行が50mにもなり、中央部は利用されず空き地になっていた。そこで、秀吉は1591年地割の真中に新たな南北通りを貫通し、空き地を生じない無駄のない密集型町屋に改造した。今の地図をよく見ると洛中各所に南北に長い短冊型町割になっている。

【寺院街区の形成】秀吉は各所に点在していた300余りの各宗派寺院の勢力を弱体化するため、1590年寺院を取壊し、宗徒から離れた指定地域に移転させ、寺院街区を形成した。その地域を外部侵略者の防衛ラインとした。それが東の南北通りの寺町通と北の東西通りの寺之内通である。さらに、大坂天満にあって勢力を増していた本願寺を1591年監視が行届き寺院街区からも離れた堀川六条に移転させた。それが今の西本願寺である。

流れていた宇治川に堤(太閤堤)を設け、観月橋經由淀に川筋を迂回させ、中書島に伏見港を開港。伏見を大坂からの物流の拠点にした。さらに、巨椋池にも堤を設け、それまで巨椋池を避け深草大亀谷から六地蔵、宇治經由大久保に迂回していた大和街道(奈良への街道)を小倉經由大久保に変更し、道程を短縮した。その後伏見港は、秀吉死後の1614年角倉了以による高瀬川開削で、伏見/京都間の舟運発展の拠点となり、さらに地下水が良質で豊富であったこともあって、港町伏見が酒造りの町へと発展していった。

話は変わるが、1972年田中角栄は高速道路網、新幹線網、本四架橋などで、移動時間短縮で日本経済を活性化し、地方格差を無くす「日本列島改造論」を発表した。その約380年前、関白に就任した1585年から死去する1598年までのわずか13年間で、秀吉は防災、防衛、経済活性化のため、京都でこれだけの改造をしていたのである。田中角栄を引合いに出すのは適当ではないかも知れない。しかし、日本各地がそれぞれの国であった時代、蒸気も電気も車も無い人力と馬、牛しか無い時代に、行った京都の改造は、画期的なものであったに違いない。京都出身の私は、これまでこれらの偉業を詳しく知らなかった。まさに灯台下暗しである。



【北野天満宮内に残る御土居】

【伏見港の開港と大和街道の整備】伏見城築城の際、秀吉は1594年宇治橋下流から直ぐ巨椋池に

私が、80才になった時、社長から“もう5年間は頑張ってもらわんと”と言われた。もう5年間と言うと、85才になり、それまで毎日の勤務では、体が持つかどうか、と心配していた。その事を嫁さんに話したら、“え？5年間”と不思議そうな返事が返ってきた。私の体の事を気づかなくて”え？5年間も大丈夫かネ”と言ったのかと思ったら、それとは全く逆の事で、5年間ではダメ、死ぬまで、おまけしても、これから10年間は働いて「埋合せ」をしてほしいとの事であったが、あれからもう2年近くになっている。

嫁さんと一緒に暮らして、半世紀以上になり、その間に私が失敗した事は沢山あるが、嫁さんはこの失敗の一部始終をよく覚えている。40～50年前に失敗をした事でも、昨日失敗した様な言い方で攻めてくるが、「埋合せ」をしてほしいと言っている事は、三ツくらいあると、思っている。

それは、今から30年ほど前のこと、私は知人の頼みを断るすべを知らず、借金の連帯保証人をして、財産の大半を失ってしまった。最近よく、オレオレ振り込めサギや、新種のサギのテレビ映像が流れるたびに、嫁さんは私の過去の大失敗を思い出して、チクリチクリと繰り返し攻撃をして来るが、全て私の身から出た錆なので、反発も出来ず、ただ ひそかに耐えておくしかない。

二ツ目の失敗は、一般的に、世の中の男性は、たまには嫁さん以外の女性とお茶や食事をし乍ら、お話くらいはしてみたいもの。この様な気持ちが消えうせたら、全ての意欲や活力が無くなってしまっている時だと思いが、この様な気持ちがある限り、又何かにチャレンジして見ようかと言う様な、若さが残っている証拠でもある。私は、やり方が下手なせいもあってか、すぐにバレそうになる事もある。

ある先輩からの話によると、浮気が完全にバレてしまっても、嫁さんには、あくまで否定し

通す事。もしバレそうになった時でも、“知らぬ存ぜぬ”で押し通し、絶対に白状しない事。嫁さんから“今回の件は、何もかも分ってんのヨ一、正直に言ったら許して上げるウ一”と言われ、正直に全てを白状してしまったとたん、大



【面取風呂・薄茶平点前（5月～10月の間）】

変な事になってしまった、と言う忠告をしてくれた事がある。私は嫁さんと一緒に街に出かけた際、女性の綺麗な足を見ると、目が釘付けになってしまう。嫁さんは取り柄は無いが、勘だけは、すごく良く、私のこの様な態度をすぐ見抜いてしまい、何十年前の古傷迄も持ちだして延々としゃべり出す。こうなったら、後は嵐が通り過ぎるまで“知らぬ存ぜぬ”で、通すしかない。



【紅鉢風呂・茶箱「卯の花」 点前(8月)
*屋外での野点の茶会での催しの点前。】

三ツ目は、慾により度重なる多額の損失で地獄を見た。家に帰ったら失敗の一部始終を嫁さんに話す事にしてはいたが、スッカラカンになった、まぬけ亭主の失敗事をあきれれるほどよく覚えている。嫁さんは足腰が老化して来ているが、口だけは不思議と老化せず、事ある度に小出しにして、チクチク攻めて来る。そして、あの様な思いは二度と、させんといて、とも言っているが、これも私の自業自得なので“ごもつとも、ごもつとも”と言っておくしかない。タマには、言い返えしてやる事も有るが、こうすると、多少嵐が治まりにくくなる。この場合は、自室で、移り行く四季に合わせた、茶道具（写真）で、お香を焚き乍ら、茶の湯で過ごす事している。ほのかな香りと、茶釜からゆっくりと立ちのぼる湯気の揺らぎを眺めていると、何となく、気持ちが癒されて来る。しかし、どんな嵐でも、嫁さんとは不思議とあまり長続きせず、その内に、何事も無かった様に、又元通り、仲良くなっている。

私が度々横道にそれるので、嫁さんがそれを間違いのない様にと、一生懸命、機会がある度に忠告をして、このグウタラ亭主の手綱をしっかり引き締めているが、これが女房の役目なんよ、と言ってくれている。

このグウタラ亭主は、まだ過去の「つぐない」は出来ていないが、この怖い嫁さんがいてこそ、なんとか此れまでやってこれたのかなと思ひ、感謝もしている。OB会会報の発行当初より、寄稿もかれこれ30稿くらいになると思うが、これ以上我が家の恥を晒すと嫁さんや皆さんからも、軽蔑をされるので、この辺でひとまず筆を収め、会報への寄稿はこれで最終回にしようと思っている。 お・し・ま・い



【台子による ・「板中置き」 点前】



【炬釣り釜 ・平点前（3月～4月）
茶釜を鎖で天井から吊り下げ、春のそよ風で、数秒くらいの周期でかすかにゆれる茶釜に、春の訪れを感じさせる大変風流なお茶の点前になります。】



【炬（囲炬裏）・薄茶平手前（11月～2月）】

今回の旅行では、地球の裏側の南米・ペルーに行ってきました。一番の感想は、『大変疲れました』です。クスコに到着した時は、それほど疲れたとは思わなかったのですが、伊丹⇒成田⇒ニューヨーク⇒リマ⇒クスコと航空機を乗り継いで1日半に及ぶ旅程と、時差が14時間、更に着陸しても耳抜きが必要ないクスコの標高3360mという空気の薄さが体調にダメージを与えます。私が参加したツアー参加者で、最後まで体調不良にならなかった人は居なかった様です。特に空気の薄さは後になって効いてきました。また高地とは、坂の町です。平地と同じように歩くと息が切れて目眩がします。ゆっくりした動作に努めることが大事でした。



ツアー最大の目的地は、標高がクスコよりは低い2460mのマチュピチュ遺跡です。標高は低いのですが、聖なる谷と呼ばれる峡谷地帯です。麓のマチュピチュ村に2泊し、丸1日遺跡を回りました。ただ残念ながら乾季の6月なのに、雨期の2月並みと言う雨に降られてしまいました。午前中は目のワイナピチュが霞むくらい視界が悪く、雨カッパで遺跡内を見て回りましたが、右も左も絶壁で、マチュピチュ遺跡を発見したハイラム・ビンガムがよくもこの絶壁を這い上がって発見したものだと感じました。遺跡前のサンクチュアリロッジでの昼食後、ようやく雨も上がり、15時頃にはすっかり晴れてくれました。午後は、クスコ方面からマチュピチュへの入り口であるインティ Punk（太陽の門）までインカ道のトレッキングを楽しみました。

さて、遺跡の感想ですが、石の文化には圧倒されます。クスコ市内には12角の石をはめ込んだ剃刀も隙間に入らない有名な石垣が残りますが、マチュピチュに残る石垣も同様です。ただし、全ての石垣がそうではありません。手を抜いた石垣の

建物も在ります。手が込んでいる建物は、王の宮殿や王妃の宮殿、そして重要な神事が行われた神殿です。石垣の出来栄を見比べながら遺跡を見ると、遺跡を少し分かった気になりました。なお、最近の研究で、マチュピチュ遺跡はインカの都だったクスコとアマゾン地帯を結ぶ中継都市だった事が、分かってきたとの事です。

次に標高3812mのチチカカ湖に移動しましたが、途中のラ・ラヤ峠は標高4335mあり、富士山を500m以上越える標高を体験してきました。今回のツアーでは、クスコ近郷の標高3700mの村とチチカカ湖に浮かぶ浮島のウロス島の集落を訪ね、土着の人の生活を拝見しました。民族衣装を着て出迎えてくれます。村ではトウモロコシを育て、島では魚を獲り、糸を紡いで布を織ります。そして何よりも神への感謝の儀式が一番です。作業の前に祈りを捧げます。生活の厳しさが実感できる所です。村では、伝統的な昼食もごちそうになってきました。見学した後、この人たちの生活は、10年20年後も同じように続くのか心配になりました。暮らしぶりは60年前の日本を連想しましたが、消費文化がどんどん入り込んでいます。今までは自給自足の生活をしていたのが、変化している状況が分かります。チチカカ湖は、富栄養化も進んでいる様です。かなり汚れていて藻もかなり繁殖しています。ペットボトルなどのゴミも散乱しています。今まで通りの生活はできなくなりつつある気がします。

最後にナスカの地上絵の遊覧飛行にも行きました。リマから日帰りです。ナスカの手前にあるピスコの空港から乗客12人乗りのセスナ機で30分でナスカ上空に着き30分の遊覧飛行後ピスコに戻ります。この日は天気が良く、有名なハチドリ、サル、宇宙飛行士などの地上絵を、しっかり見るこ



上空から見ていると、有名なパターンの他に訳の分からない線や曲線がたくさんあります。未だ未だ解明されていないのだと思います。最後に、ペルー旅行を考えている人にアドバイスです。冒頭に書きましたが、南米は遠く、行くにはやはり体力が必要です。できるだけ体力のあるうちに行かれることをお勧めします。また、今回は乾季に行ったのですが、雨に降られました。砂漠地帯のリマでも、霧雨が降っていました。現地のガイドさんに聞くと、毎日のように降るそうです。ただ、霧の様な雨なので、傘を持っているリマの人は居ないようですが、旅行者には雨具は必要です。また、赤道に近いので、晴れると熱帯の太陽の日差しが強く、暑くなります。



しかも、標高の高いクスコなどでは朝はぐっと冷えます。1日の中で気温差が半端ではありません。朝はダウン、昼間はTシャツの感じです。それと、バスのエアコンが入ると寒く、切れると暑くて厄介です。どのバスのエアコンも、こんな調子です。持ち歩くかばんの容量を少し大きめにし、対処が必要でした。



OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページはクラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com/>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com

－ 新入会員紹介 －

平成26年8月以降に入会された会員を紹介します。（敬称略）会員番号

1901－衣斐 寛之 1902－佐々木 一訓 1903－吉良 昭道

1904－田嶋 寛 1905－調子 均

－ 訃 報 －

平成27年4月29日会員の南村 義昭様をご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

－ 年間行事計画について－

第19期の年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク（年間5～6回の予定）
 - ・ 鴨川茶店（4月12日、13日済）
 - ・ 鴨川納涼（8月1日、2日の予定）
- 工房学習支援
- 一泊（日帰り）旅行（2月21日～22日済）

- 夏の懇親会（未定）
- 春の懇親会（4月5日済）
- レジャー例会（4月済、6月済、11月の予定）

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。

行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について－

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をお願いしています。紙面の都合で事務局により多少編集させていただきますのでご理解のほど宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内

（写真を1枚～2枚添付して下さい）

◆ホームページへの活動報告

800文字以内

（写真を1枚～2枚添付して下さい）

会報、ホームページ共に文字だけではなく必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願い致します。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

テーマは特に決めていません。

<旅行の感想>、<地域での活動>、<地域の旧所名跡の紹介>、<地域の祭り>など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」
(1,000円分)を進呈させていただきます。

会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、
6月末を目途に提出いただくようお願いします。

◆**著作権について**

・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。
(発行元、書籍名、著者)

・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆**送付先**

編集責任者 〒617-0824

長岡京市天神3丁目21-15 酒井 俊英

メールアドレス sakai727@yahoo.co.jp

携帯電話 090-5965-0389

— **OB会入会手続きについて** —

OB会未加入の方が入会を希望される時は、入会申込書をOB会に提出していただき、入会承認の後、入会費、年会費を納入し、正式なOB会員として登録される手順となります。

「入会申込書」は、OB会ホームページよりダウンロード出来ます。

■**OB会入会手続きの手順**

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付又は郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。(手続き完了)

【**OB会員の皆様へ**】

皆様の周辺で、未加入の対象者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。

堀場OBホームページトップページの「OB会入会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英
(sakai727@yahoo.co.jp)

副代表幹事 船越 健
(funakoshi@ksvu.or.jp)

幹事

森山 晶成

(moriyama0983@outlook.jp)

中村 正博

(masahiro.nakamura@kyoto-neutronics.co.jp)

中村 十規人

(n4f5zpjv@zd.ztv.ne.jp)

東京支部幹事 谷口 義晴

(taniguchiyoki@yahoo.co.jp)

会計幹事 笠川 重美

(shigemi.kasagawa@horiba.com)

会計監査 湯浅 一郎

(yuasayuasa@yahoo.co.jp)



上半期会社ニュース ピックアップ

①—HORIBA最先端技術センター竣工式挙行—

4月27日、STEC本社にて、HORIBA最先端技術センターおよびSTEC本社増改築工事の竣工式が開催されました。竣工式には、ご来賓として山田 啓二 京都府知事、門川 大作 京都市長、熊本県阿蘇郡西原村 日置 和彦 村長をはじめ、HORIBAグループの重要顧客や近隣企業等の社外関係者ならびに設計・施工業者をお招きし、社内関係者を含め総勢約140名が参加されました。



②—優勝！ 林 勇氣さん、2015年ワールドカップ第2戦 アンタルヤ大会—

HOR 法務部の林 勇氣さんは、5月31日、トルコのアンタルヤで行われたアーチェリー2015年ワールドカップ第2戦アンタルヤ大会において、リカーブ女子団体決勝に進出。川中 香緒里選手（ミキハウス）、林 勇氣選手（堀場製作所）、永峰 沙織選手（長崎国際大）で臨んだ日本女子チームは、決勝で強豪韓国を6-2で破り、見事優勝されました！



③—HORIBAグループ 東北オフィス開設—

HORIBAグループ東北オフィスにおいて、5月22日、開設披露パーティーが盛大に開催されました。東北オフィスは、東日本大震災からの産業復興が進められている東北地方でHORIBAグループの分析・計測技術を結集し、地域密着型の販売・サービスの事業体制を強化するために新設されました。これまで、東北地方の別々の地に拠点を構えており、またHATは東北に拠点がありませんでした。今回のオフィスに移転により、既存のHOR、STEC、HTS東北拠点が集約、HATの営業所も新設されました。



編集後記

会社は、今年創業70年の佳節を迎えます。時で言えば、現在開催中の京都市美術館のルーブル展にはフェルメールの「天文学者」が出品されています。天球儀と古く大切にしたいものを表現した絵には日本の着物のような衣裳が描かれています。

光を表現するオランダの画家に世界はどのように見えていたのでしょうか？そんな絵画の世界に思いを馳せながら会報作成を終えました。暑さに向かうこの時期お体ご自愛下さい。

（編集者代表）

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://horiba-ob.com/> *
